

5 月度個人 山 行 報 告 書		報告者	竹内	参加 メンバー	CL 竹内 塚本:
		報告日	6/11		
山 域		山行日	03 年 5 月 22 日 (木) ~		
山 名	剣山、三嶺、石鎚山		03 年 5 月 24 日 (土)		

山行目的	百名山を登る	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	--------	--------------------

配布先	ルート図 (地図を見て正確に)
集会:12	
山行: 1	
リーダー	
原紙: 集会 担当者	

ルート図 (地図を見て正確に)

2.5 万分の 1 地図:

5/22	晴れ時々曇り
8:35	見ノ越
9:25	西島
10:40	剣山
12:40	丸石頂上
13:05	丸石小屋
14:12	高ノ瀬
16:40	白髪避難小屋
5/23	晴れ
4:55	白髪避難小屋
6:47	三嶺 (1893 m)
8:50	登山口
9:20	車 (P)

5/24	晴れ
7:40	下谷 (ロープウェイ)
7:50	山頂成就
9:20	夜明峠
10:25	弥山
10:45	天狗岳
12:55	成就
13:20	山頂成就
13:30	登山口

山行報告 前夜、刈谷を車で 20 時出発、和歌山港に 23 時 08 分到着。00:40 発のフェリーに乗って 2:40 徳島港着、仮眠をして 5 時出発、見ノ越に 6:55 着。車を下山場所の名頃に置いて来て、出発する。緩やかな登山道を歩いていくとやがてブナ林が見えてくる。にしじまから 40 分ほど歩いた所で名水の湧き出る御神水を汲んで剣山に向かう。出発から 2 時間程で頂上に着いた。平日でも何組ものパーティが登ってくる。頂上からの景色は良い。しばらく休憩した後出発する。ここから丸石小屋まで 2 ピッチである。登山道も整備されていて歩きやすい。途中丸石から剣山を振り返るといい景色であった。ところが、ここを過ぎて高ノ瀬、白髪避難小屋までは笹深いところが多くあり、まだ整備されていないところもありひたすら歩くだけである。白髪小屋に着いたのが 16 時 40 分であった。夕食を食べ早めに寝た。翌朝は 4:55 出発整備された登山道を進んでいく。三嶺の頂上直下は急坂で鎖がついている。そこを一気に登ると頂上である。景色はよく、昨日歩いてきた山を見ながら良い山だなと思った。ここからは下りの連続である。笹原の急坂を下りていくとやがて景色は樹林帯になる。頂上から 2 時間半ほどで車の

置いてある駐車場に到着した。ここから明日登る石鎚山の麓まで移動した。途中そば道場というそば屋でざるそばを食べ、観光で有名な大歩危、小歩危を見学しながら移動した。



剣山

確認 (リーダー)	
リーダー所見	剣山のピストンだけなら短い時間で登ることができるが、今回は縦走コースということもあって、小屋に泊まることになったが、山行としては、長い時間歩くことができ楽しい山行となった。
(報告者)	竹
	03/06/10
	内

5 月度個人 山 行 報 告 書		報告者	竹内	参加 メンバー	CL 竹内 塚本:
		報告日	6/11		
山 域		山行日	03 年 5 月 22 日 (木) ~		
山 名	剣山、三嶺、石鎚山		03 年 5 月 24 日 (土)		

山行目的	百名山を登る	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	--------	--------------------

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙:集会
担当者

ルート図 (地図を見て正確に)

2.5 万分の 1 地図:

5/22	晴れ時々曇り	5/24	晴れ
8:35	見ノ越	7:40	下谷 (ロープウェイ)
9:25	西島	7:50	山頂成就
10:40	剣山	9:20	夜明峠
12:40	丸石頂上	10:25	弥山
13:05	丸石小屋	10:45	天狗岳
14:12	高ノ瀬	12:55	成就
16:40	白髪避難小屋	13:20	山頂成就 (ロープウェイ)
5/23	晴れ	13:30	下谷
4:55	白髪避難小屋		
6:47	三嶺 (1893 m)		
8:50	登山口		
9:20	車 (P)		

山行報告 前日に石鎚山の麓にある下谷に移動した。車は土産物屋の駐車場に止めさせてもらった夕飯は途中で買ってきたものを食べた。翌朝 7:40 のロープウェイに乗って山頂成就まで移動した。ここからは緩やかな登りを歩いていく。登山道は人で賑やかである。近くには石鎚中宮社と旅館が建っている。ここから先はブナやミズナラの原生林の中を歩いていく。やがて一の鎖、二の鎖がでてきた。かなりの急勾配の中を鎖場になっていた。鎖は大きくてしっかりしているが、慎重に登っていく。三の鎖まであってこの長い鎖場を過ぎると石鎚神社に到着である。弥山から目と鼻の先に天狗岳がそびえる。天狗岳まで行って休憩していたら雲が出てきて肌寒さを感じた為、下山することにした。下りは鎖場は降りずに迂回路を降りていくことにした。勾配が急なため下山は迂回路をとるのが一般的なようです。山頂成就からはロープウェイに乗って標高差 1000 m を景色を楽しみながら一気に降りてしまった。下谷に降りた後、すぐ近くに温泉があるのでそこで汗を流して今回の山行を終えた。

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に

確認
(リーダー)

リーダー所見 天気の良い中で登ることができた。途中長い鎖場があったが石鎚らしさを感じた。天狗岳がそびえたっているのが印象的であった。

(報告者)
竹
03/06/10
内